

教育情報誌

まなびの風



船橋市総合教育センター 〒273-0863 船橋市東町834番地 TEL 047-422-7730 表紙絵 黒須 紀子（旭中学校 主幹教諭）

船橋市 教育大綱

教育大綱とは…

市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるもの。

将来を担う子供たちに「全国に誇れる船橋市」を引き継ぐため、この教育大綱を今後の船橋市の教育のさらなる充実に向けた指針とします。

2つの取り組み&8つのキーワード

社会状況の変化を受け入れて 力を入れていく取り組み

令和8年2月
船橋市長

松戸 徹



多様性と
人権の尊重
1

性別、経済事情、障害の有無等、様々な多様性の中、誰もがお互いの人権を尊重し、支え、認め合う共生社会への理解を深める教育を推進する。

安心して
学べる環境
2

虐待、貧困、不登校や発達障害などの問題について、関係機関がチームとして対応し、安心して学ぶことができる環境を整備する。

可能性を
引き出す
3

様々な体験の場を提供することで、子供たちの気付きや探究心を得る機会を創出し、可能性を高められる環境をつくる。

情報
リテラシー
4

インターネット上の情報を正しく理解し、トラブルに巻き込まれることのないよう、情報リテラシーを育む教育を推進する。

主権者教育
5

国や地域の問題を自らの問題としてとらえ、考える力等を育み、主権者としての自覚と責任感を培う教育を推進する。

自然環境を
守る
6

環境問題への理解を深め、体感できる環境学習・環境教育の場を提供する。

「ふるさと
船橋」
7

船橋の歴史、自然、文化などを学ぶ機会を充実させ、「ふるさと船橋」を誇りに思い、大切にする気持ちを育む教育を推進する。

生涯学べる
環境
8

学校教育と社会教育の連携を図りながら、すべての市民が学ぶ機会を創出し、生涯にわたって学ぶ意欲を育む。

子供たちと船橋とのつながりを育み、
市民が生涯学べる環境づくりへの取り組み

それぞれの連携を図り、進めていきます！

※詳細は、船橋市HP「教育大綱」をご参照ください。



ふなばしで輝く！第85号で掲載されている教育活動

2・3面：「第四次船橋市子供の読書活動推進計画」について（夏見台小学校・三田中学校）

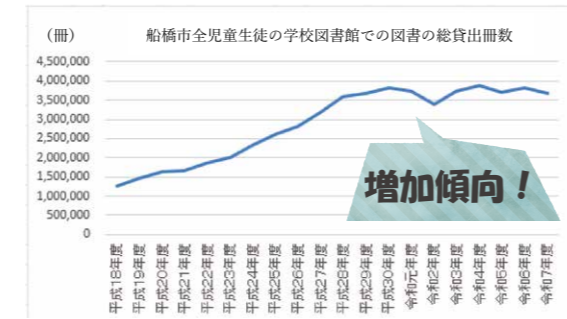
4面：「教育研究論文等受賞者」の紹介、「わが校の給食自慢レシピ」（海神小学校）

家庭での教育やしつけのこと、子供の学校生活や家族関係のことなどの家庭教育相談を受け付けています。
○電話相談 ☎ 047-436-2897（青少年課） 月曜日から金曜日 午前9時から午後4時30分まで
○面接相談 月2回実施（要予約） 公民館等で実施

平成31年2月に策定された「第三次船橋市子供の読書活動推進計画」(以下、第三次計画)が令和7年度で終了しました。第三次計画の成果と課題を踏まえ、子供の読書活動の更なる推進を図るため、「第四次船橋市子供の読書活動推進計画」を策定しました。

第三次計画の成果

- 読み聞かせ、ブックスタート事業、セカンドブック事業による読み聞かせのきっかけづくり
- 児童・生徒への年間貸出冊数の増加



図書活用月例調査より 船橋市教育委員会指導課が作成

第三次計画の課題

- 読書が好きな子の割合の減少、不読率の上昇、学校段階が進むにつれて読書離れの傾向
- 読み聞かせや読書の意義について保護者へのより一層の啓発が必要

子供の読書活動に係る目標とする数値 [第四次船橋市子供の読書推進計画] P.34より一部抜粋

項目	対象者	平成29年度	令和6年度	市目標値 (令和12年度)
読書が好き な子供の 割合	小学生	89.8%	87.0%	90%
	中学生	82.6%	75.8%	80%
1か月に読 んだ本が0 冊の子供の 割合	小学生	67.8%	72.7%	80%
	中学生	2.9%	4.6%	3%
不読率	小学生	8.6%	18.3%	15%
	中学生	51.1%	53.3%	35%

不読率の
上昇…

目標にせまれるように…
「第四次船橋市子供の
読書活動推進計画」
を策定!

船橋の子供たちに
読書の楽しさを知ってもらうために

第四次船橋市子供の読書活動推進計画

目的を達成するための基本方針が2つ!

目的: 子供が読書の楽しさに気づき、自ら読書を楽しむことのできる環境づくり

令和8年度(2026年度)から
令和12年度(2030年度)までの5年間!



詳しくは
二次元コードから!

※施策の具体例は一部と
なります

乳幼児期
「本に出会う」

- ・ブックスタート事業保健センターにて絵本を手渡す。

小学生期
「本に親しむ」

- ・ボランティアとの連携
- ・朝読書
- ・読み聞かせ 等

中学生期
「本から学ぶ」

- ・読書意欲を高める取組
- ・ポップ作りやブックトークなど、生徒が相互に図書を紹介する活動

基本方針1 読書に親しむ機会の充実

子供が読書の習慣を身に付けるには、家庭・地域・学校等がそれぞれの役割を自覚し、社会全体で子供の読書活動を支援することが必要です。関係者が連携・協力を図りながら、読書機会の提供・充実に努めます。



3つが連携することで「読書を楽しむ環境づくり」の達成を目指します!

施策1
不読率の低減

読書に親しみ、楽しむ習慣を形成するために、乳幼児期からの発達段階に応じ、適切な読書活動を推進していきます。

基本方針2 読書環境の整備

子供が読書の楽しさを知り、読書に親しむために発達段階に応じて、本・施設・設備や人的環境の整備に努めます。また、子供の読書活動の意義や重要性について身近な大人たちに理解を深めてもらうために、啓発や広報等、普及啓発の推進を図ります。

施策2
多様な子供たちの
読書機会の確保

全ての子供たちが読書に親しむための環境整備に加え、バリアフリー図書や外国語図書を提供する仕組みについても整えていきます。

施策3
デジタル社会に対応
した読書環境の整備

多様なメディアを活用した情報活用能力・情報リテラシーを育むとともに、電子書籍の活用を推進し、読書環境を整えていきます。

施策4
普及啓発活動の推進

保護者が読み聞かせや読書の意義について理解を深め、家庭での読書活動に繋がられるよう、保護者等への啓発を行っていきます。

読書がもっと身近になる船橋市の魅力的な学校図書館!

かしの木文庫

ボランティアとの連携

学区内にある読み聞かせボランティア「かしの木文庫」の方々が、各学年へ年2回程度、お話や読み聞かせを実施しています。児童の発達段階に合わせて、絵本の読み聞かせだけでなく、紙芝居やペープサート劇などで児童や教師を楽しませています。



ボランティアの方の言葉
おはなしの世界で全ての
子供たちが自由に楽しめる
ことが子供たちの心の
成長にとってどんなに
大切かを身にしみて感じて
います。本が好きの子だけ
でなく、全ての子に届け
たいので、授業時間に
活動させていただけること
が何よりありがたいです。

夏見台小学校での取り組み

図書委員会の活動

年間を通じて (1)読書ゆうびん

おすすめの本を学校オリジナルのがき書き、学校内のポストに投函! 図書委員会が仕分け、各教室への配達を担当します。



仕分け中!



ポストへ投函!

読書クイズ・おはなし給食・お楽しみ袋など、いろいろな取組をしています!

小学生期
「本に親しむ」

令和8年度
子供の読書活動優秀実践校
文部科学大臣賞

(2)雨の日スタンプラリー

雨の日の休み時間、図書室に行くスタンプがもらえます。たまたと、図書委員会が作成したしおりがもらえるイベントです。

(3)読書マラソン

カードに学年ごとの目標冊数が記載されています。達成すると、しおりをゲット!
低学年:10冊 中学年:8冊 高学年:5冊



三田中学校での取り組み

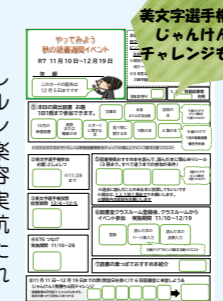
読書意欲を
高める取組

移動図書館

各学年のフロアにブックトラックを設置し、何冊か本を置くことで、図書室に来なくても本が借りられるようにしています。忙しい中学生にはびったり!貸し出しには、スプレッドシートを活用しています。

図書館ビンゴ

春と秋の2回の読書週間に実施します。春には、いろいろなジャンルの本に触れられるような内容のビンゴを、秋には、図書館に行ったら楽しいなと思ってもらえるような内容のチャレンジカード(右写真)も実施しています。さらには、学年対抗用ビンゴまで!本を借りたくてたくさん工夫がビンゴに盛り込まれています!



学習・情報・読書を支える拠点としての図書室を、意識しつつ、学校行事や季節のイベントに合わせた展示コーナーを作成するなど、短い時間で少しでも本を手に取りやすいよう書架の整備には力を入れています。春・秋の読書週間のイベントでは、読書が苦手な図書室と縁が薄い層の生徒も楽しめるような企画を、図書委員と共に考え、実施しています。

学校図書館の主役は生徒。居心地がよく、また来たいな、と思ってもらえるような環境を作るためにこれからも頑張っていきたいです。
学校司書 櫻井亜希子

令和7年度 第61回 教育研究論文

船橋市では、教職員が日々の指導の工夫・改善に取り組んだ研究や実践の記録を「教育研究論文集」にまとめて広く紹介し、教職員のさらなる資質の向上のために役立てています。昭和40年(1965年)から始まった本事業は令和7年度で第61回を迎えました。令和7年度は、教育相談、人権教育、幼保小連携、学級経営、個別最適な学びなど、多岐にわたるテーマに取り組んだ15編の論文が寄せられました。

講評



審査員長
淑徳大学
教授 坂田 仰

昨今の論文や実践報告の精度向上には目覚ましいものがあります。今後の研究の底上げのためには、論証のエビデンスを重視する「研究論文」か、子どもの変容を重視する「教育実践報告」か、自身のテーマに即した的確な枠組みを選択することが重要です。また、生成AI等の新技術との向き合い方も、これからの論文執筆において避けては通れない課題となるでしょう。今すぐ評価されずとも、自分が面白いと感じるテーマを10年、20年と息長く追い続けてください。若手の先生にはその「将来性」を、ベテランの先生には積み上げてきた「実践の重み」を期待しています。多忙な日々の中で自らの実践を言語化し、問い続けること。その真摯な姿勢こそが、教育研究論文を執筆することの真の意義であると考えます。

教育長賞



三咲小学校
主幹教諭
鈴木 智実

この度は素晴らしい賞をいただき、大変光栄に思います。本論文は、チームとして対応する教育相談体制の構築のために、教育相談コーディネーターとして実践した取組をまとめたものです。本校職員と共に、多角的な視点で活動に取り組むことができ、その過程で子供たちを中心に据えた支援の在り方について改めて考える機会をいただき、大きな学びとなりました。今後も、子供たち一人一人の成長を支えるため、現場での実践を大切にしながら、より良い支援の在り方を追求してまいります。ありがとうございました。



- 優秀賞**
- 三山東小学校 教諭 石橋 博和
- 優良賞**
- 高根小学校 教頭 小島瑠理子
(現：船橋市教育委員会)
 - 南本町小学校 主幹教諭 山本 真大
 - 宮本中学校 教諭 本田 夏啓
 - 芝山中学校 主幹教諭 須釜 昇平

注：令和7年度の所属名で記載しています。なお令和8年度に異動した教職員は()内に記載しています。



- 奨励賞**
- 宮本小学校 教諭 伊壽 颯太
 - 峰台小学校 教諭 井上 悠紀
 - 西海神小学校 教諭 池田 暁
 - 金杉台小学校 教諭 植田 桃子
 - 塚田小学校 教諭 中野 誠二
(現：飯山満小学校)
 - 塚田南小学校 教諭 大野 泰輝
 - 行田西小学校 教諭 西村啓太郎

- 行田中学校 教諭 中上 武士
(現：三田中学校)
- 塚田小学校 ※共同研究
教諭 野口 昂大
教諭 中山 翔太
教諭 佐藤 拓実
(現：市川市立真間小学校)
教諭 空閑 健児
(現：夏見台小学校)

令和7年度 千葉県教育奨励賞 受賞者

県の教職員の中から、学校における教育実践等に積極的に取り組み、優れた実績を上げているとして、千葉県教育奨励賞を受賞した方を紹介します。



【社会科教育の推進研修】
海神中学校
教諭 岸 那穂子

わが校の給食自慢レシピ

海神小学校編

栄養教諭 田中 麻衣子

『船橋産コノシロのさんが焼き』



材料(4人分)

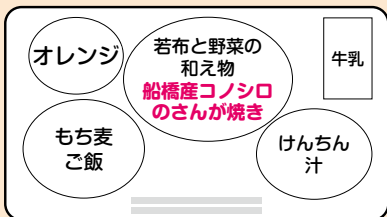
- コノシロ(すり身) …… 120g
- 豚もも(ひき肉) …… 60g
- ねぎ(みじん切り) 1/2本(40g)
- おろししょうが …… 小さじ1(5g)
- 生パン粉 …… カップ1/3(13g)
- みそ …… 大さじ1(18g)
- 砂糖 …… 大さじ1(9g)
- 酒 …… 小さじ1(5g)
- しょうゆ …… 少々
- 油 …… 適宜

レシピ紹介

江戸前寿司で人気の「コハダ」は大きくなると「コノシロ」と名前を変えます。コノシロは、コハダに比べ小骨が目立ち、敬遠されがちですが、くせのないうまみたっぷりのおいしさを子供たちにも知らせたいと、船橋市漁協と学校栄養士が連携し、小骨が気にならない加工方法やレシピを考案してきました。コノシロはスズキが産卵する冬を中心に漁を行い、スズキの産卵環境を守ります。現在、コノシロ・スズキ、どちらの水揚げ量も船橋市漁港が全国1位です。子供たちの人気メニューとして定着しつつあるすり身使用のさんが焼きは、持続可能な食を考えるきっかけづくりにもつながります。

作り方

- 油以外の材料をよく混ぜ、4等分し、厚さ1.5cmほどの平たい円形に整える。
- 鉄板にオープンシートをひくか、油を塗り、①を載せ、160℃のオープンで10～12分くらい焼く。または、油をひいたフライパンで焼く。(焦げやすいので、火加減に注意)



学校へ通えず家庭から出られないお子様のことでお悩みの方は、
《ふれあい「夢のふなっこ」》にご相談ください。
☎ 047-434-6811 火曜日から金曜日 午前10時から午後3時まで